

平成29年度全日本学校関係緑化コンクール（学校環境緑化の部） 特選（文部科学大臣賞）の受賞について

1 全日本学校関係緑化コンクールについて

青少年の緑化活動及び学校における緑化教育の一層の推進を図ることを目的として、国土緑化推進機構が発足した昭和25年度から、毎年度、実施されている。

応募資格は、児童・生徒等による計画的、組織的な環境緑化を進め、優秀な実績をあげるとともに、樹木等を活用し緑化教育の面においても顕著な教育効果をあげた学校である。小学校、中学校、高等学校別に、特選校1点、準特選2～4点、入選校が若干校選定される。

2 被表彰者

被表彰学校：東広島市立高美が丘中学校

表彰式：平成30年6月10日（日）（福島県で開催される第69回全国植樹祭において行われる。）

3 高美が丘中学校の取組について

高美が丘中学校は、平成25年度全日本学校関係緑化コンクール準特選の受賞を始め、平成27年度には本コンクール最高の賞である特選 文部科学大臣賞を受賞した。今回の受賞は、2度目である。

（1）取組の具体

- ・ 本校は、全校生徒・教職員・PTA・森林組合・地域の方々の協力により、美しく管理された学校庭園の樹木に親しむとともに、校内外の美化活動や緑化・育樹活動に積極的に取り組み、美しい学校づくり・地域づくりを行っている。
- ・ 学校の教育目標に基づき、環境教育の目標を、「環境問題に関心をもち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、持続可能な社会づくりに参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成する」と設定し、教育実践を行っている。この環境教育の目標をもとに、環境教育・学校環境緑化全体計画を作成し、全教職員で共通認識し、各教科及び特別活動、学校行事等における環境教育を実践している。
- ・ 全校生徒が一人一鉢草花等を育て、植物の手入れを行うことを通して、自己有用感を高め、生命尊重の心を育てている。自分の鉢を見守り、成長を楽しみにしている生徒の姿が見られるようになり、緑化活動が生徒の心を育てる取組となっている。



<美しく彩られた学校>

（2）文部科学省現地調査による評価

- ・ 現地調査では、高美が丘中学校の学校緑化活動の取り組みを、「緑化活動をESDの柱として全教育活動通じて活動を充実させている」「継続的に活動を行いながらも、新たな活動を取り入れるなど、PDCAのサイクルを重視した取組の継続性が感じられる」など高く評価された。



生徒がデザインしたキャラクター
「菊之助」